

広貫堂グループIR情報

会社名： 広貫堂

経営理念(企業価値を示すもの)

医薬品の製造販売を通じて、大衆の疾病の予防と治療、健康の増進に寄与すべき社会的責任を果たす優れた医薬品と優れた従業員によって、培われる信用を基盤として社業の発展をはかる。

主要な事業内容(事業内容や事業目的を示すもの)

1. 医薬品、医薬部外品、医療用具、化粧品、清涼飲料水の製造、販売、輸出および輸入

2. 食品、日用雑貨品の販売、輸出並びに輸入

人はいつの時代も健康を幸福の基と願ひ暮らしてきました。広貫堂は、明治9年の創業以来130年「健康を考える企業」を目指して健康に役立つ医薬品の研究と開発に取り組んでまいります。

事業の概況(現在の事業運営、業績などの概況を示すもの)

本年4月に当社の配置卸部門であった営業推進部を「薬都広貫堂」として新設分社し、流通部門別のグループ会社が8社となりました。また、製品カテゴリー別のマーケティングと商品開発のスピード化を図るためマーケティング戦略本部を設置し、顧客本位の商品提供とソリューションに努めております。製品カテゴリーとして医薬品、和漢、機能性、ドリンクの4分類として研究室との連携により、製剤開発に努めております。マーケティング戦略本部の外に、生産本部、信頼性保証室、事業支援本部を設け、事業の円滑な運用に努めています。各本部および室は、その機能を如何なく発揮し、企業価値の向上と顧客満足を図ってまいります。(別紙組織図参照)

課題への取組み(現在抱えている問題や課題に対する取組みを示すもの)

中期経営計画では、4つのリスクをグループ全体が共有化し、そのための経営改革として

①全社的組織機能の見直しと再編 ②流通別販売部門の自立拡大策の実施

③人材確保とキャリアアップによる人材育成 ④マーケティング機能の充実

⑤市場拡大、需要創造に耐え得る生産能力向上とコストダウンの実現

を実施してまいります。これらを年度計画および各部門のアカウンタビリティと位置づけ、意思決定会議において、これらの進捗と有効性について検証を行い、実効性を高めてまいります。

また、制度改革や法改正などに対応するため中期経営計画の見直しを常に行い、年度計画との整合性を図ってまいります。

トピックス(最新ニュースとして当社および業界などのソフト&ホットな情報に関すること)

①6月27日の株主総会において以下の取締役が選任され、各役職を遂行しています。

代表取締役	最高経営責任者	塩井 保彦
取締役	グループ経営統括責任者兼最高執行役員	小紙 司
取締役	MOT戦略統括責任者	貝出 政幸
取締役	株式会社アイバック代表取締役	小沢 伊弘
取締役	日本海ガス株式会社代表取締役社長	新田 八朗
取締役	株式会社インテック執行役員常務	竹田 勝

②内部統制システムの基本方針が取締役会で承認され、IR開示いたしました。

適時開示情報(組織改編、人事異動、行事、投資、新製品など事業運営に特記すべき情報の開示)

①4月1日に「薬都広貫堂」が新設分社され、代表取締役社長に正川康明氏、取締役営業部長に高橋順一氏、取締役業務部長に吉見和宏氏が就任し、業務を順調にスタートしております。

②ISO9000取得に向けて「品質方針」が4月にトップマネジメントより開示されました。

③塩井代表が企業未来塾の講師として企業家を目指す塾生に熱い講義を行っています。

④富山で「こんぶサミット」が開催され、当社の新製品「よろこんぶゼリー」が好評をいただきました。

⑤当社を支える取引先の集まりである「ふくら雀会」総会が開催され、盛会の内に親睦を深めました。

個別業績の概況

単位:千円

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(第一四半期)
売上高	10,331,620	10,011,503	10,330,445	2,586,299
総資産	15,073,437	15,329,125	15,356,391	15,128,959
経常利益	95,138	507,719	836,162	161,947
当期純利益	142,402	291,237	511,162	183,261

広貫堂グループIR情報

会社名： 薬都広貫堂株式会社

経営理念(企業価値を示すもの)

家庭配置薬の卸販売を通じ、人々の健康に寄与出来る製品を主体とし、社会に求められる製品を開発・導入し、公衆の健康維持をとおり社会に貢献できる企業を目指す。

主要な事業内容(事業内容や事業目的を示すもの)

1. 医薬品、医薬部外品、医療用具、化粧品、清涼飲料水の製造、販売、輸出および輸入
2. 食品、日用雑貨品の販売、輸出並びに輸入

事業の概況(現在の事業運営、業績などの概況を示すもの)

本年4月に(株)広貫堂の配置販売流通部門(営業推進部)を分社し、配置市場を通じ社会に貢献と配置市場でのスペシャリストとして業界から求められる企業として新設。営業拠点として富山支店と東京支店を設置し、営業展開を実施。また、配置市場に求められる製品を(株)広貫堂マーケティング戦略本部と連携し、製品の開発とお客様及び業界より求められる製品の導入を目指す。

課題への取組み(現在抱えている問題や課題に対する取組みを示すもの)

経営課題として5つを掲げ実施を図っています。

- ①、取引先別の営業戦略の立案と実施
- ②、動態調査を始めとした調査を常時作成
- ③、懸場帳の保全
- ④、社員の資質向上
- ⑤、お客様が求める商品の導入

今後の制度改革及び法改定に対する対応と共に業界のリーダーシップを如何無く発揮できる組織と社員作りを目指しています。

トピックス(最新ニュースとして当社および業界などのソフト&ホットな情報に関すること)

6月26日の臨時総会にて新たに取締役として3氏が就任し、計6名にて業務を遂行

- | | | |
|-------|-------|----------------------------|
| 代表取締役 | 正川 康明 | |
| 取締役 | 高橋 順一 | (薬都広貫堂(株)、本部長) |
| 取締役 | 吉見 和宏 | (薬都広貫堂(株)、本部長) |
| ○ 取締役 | 西野 嘉洋 | (薬都広貫堂(株)、東京支店長) |
| ○ 取締役 | 小紙 司 | (株)広貫堂、グループ経営統括責任者兼最高執行役員) |
| ○ 取締役 | 大野 正広 | (株)広貫堂、マーケティング戦略事業部本部長) |
| | | ○ 新任取締役 |

適時開示情報(組織改編、人事異動、行事、投資、新製品など事業運営に特記すべき情報の開示)

- 1、平成15年より”産官学”にて研究開発して来ました、富山オリジナルブランド医薬品「パナワン」が本年1月に発売と成り、弊社ではお客様の健康に寄与出来る製品としてまた、配置薬の代表製品と成る様に育成製品と位置づけし全社挙げて育成に努力しております。

個別業績の概況

単位:千円

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
売上高				1,412,320
総資産				490,826
経常利益				-3,186
当期純利益				-3,186

(第一四半期)

広貫堂グループIR情報

会社名: 日本薬剤株式会社

経営理念(企業価値を示すもの)

- ・医薬品の製造販売を通じて、大衆の疾病の予防と治療、健康の増進に寄与すべき社会的責任を果たす。
- ・優れた医薬品と優れた従業員によって、培われる信用を基盤として社業の発展をはかる。

主要な事業内容(事業内容や事業目的を示すもの)

1. 医薬品、医薬部外品、医療用具、化粧品、清涼飲料水の製造、販売、輸出および輸入
 2. 食品、日用雑貨品の販売、輸出並びに輸入
- 平成16年度に、広貫堂のヘルスケア事業部を組み入れ事業拡大を行いました。

事業の概況(現在の事業運営、業績などの概況を示すもの)

- ・営業部門であるヘルスケア事業部では、各ボランタリー別(付随する大型小売店の直販)に担当を分け、きめの細かい営業活動を行っています。
- ・製造部門では、平成17年3月30日に第2種医薬品販売製造許可を取得、同年5月に自社工場を廃止し、広貫堂などでの委託製造を行っております。

課題への取組み(現在抱えている問題や課題に対する取組みを示すもの)

- ・新直販ルートを準コア事業とするために、ドラッグ業界の再編脱退などの変化に対して迅速に対応出来る体制をととのえた上で、新規参入を図ります。
- ・NBブランドの商品化を模索し、コア事業とすることにより事業基盤の強化を図ります。
- ・PB・SBブランドを構築し、将来的には、NB商品の自社での企画開発(OEM)も視野に入れて、製造元日本薬剤の医薬品、医薬部外品、機能性食品などを積極的に企画開発し製品化します。

トピックス(最新ニュースとして当社および業界などのソフト&ホットな情報に関すること)

- ・製造販売元日本薬剤の医薬品、医薬部外品を順次製品化しております。
製造販売元日本薬剤の製品(6月末現在)
ファイトドリンクA、ビタロック2000、ビタロック3000、メガビタミンDX、ライトアップD3000、
スパーシアX、ダブルファイトα

適時開示情報(組織改編、人事異動、行事、投資、新製品など事業運営に特記すべき情報の開示)

- ・新発売(4~6月)
100mLDドリンク…ビタロック2000、ファイトG&G2000、ダブルファイトα、サンリキソドリンクA
固形剤……………デルマレチゾンPV軟膏、デルマレチゾンPVクリーム

個別業績の概況

単位: 千円

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
売上高	490,773	1,644,396	1,730,181	578,012
総資産	106,783	463,184	477,702	901,905
経常利益	6,524	29,322	50,275	40,441
当期純利益	4,224	16,322	28,675	40,441

(第一四半期)

広貫堂グループIR情報

会社名: 廣貫堂メディフーズ

経営理念(企業価値を示すもの)

人々が、健康で文化的な社会生活をしていくために必要な医薬品、医薬部外品、健康食品を提供する企業を目指します。

主要な事業内容(事業内容や事業目的を示すもの)

①医薬品・医薬部外品の販売事業、②清涼飲料・その他食品の販売事業、③通信販売事業、④薬膳カフェ「春々堂」の運営事業、⑤廣貫堂資料館の運営事業、⑥富山空港薬局の運営事業等を展開し、より豊かな生活をサポートするパートナーとして、消費者の皆様一人一人に、私たちが厳選した商品をお届けいたします。

事業の概況(現在の事業運営、業績などの概況を示すもの)

サンリキソDX3000のTV-CMを出川哲朗氏を起用してさらにパワーUPさせ、富山・石川・福井・新潟の北陸4県でプロモーション展開を行っています。また、コンビニエンスストア・量販店では、サンリキソDX3000・ペットボトル商品での試飲会・サンプリング等の消費者への販売促進活動を行い、サンリキソ・広貫堂ブランドの向上を行っています。

課題への取組み(現在抱えている問題や課題に対する取組みを示すもの)

サンリキソDX3000・膳食生活黒酢に続く新商品の開発が早急に必要であり、薬膳飴やパウチ飲料の開発を進めています。また、北陸地区での基盤の確立と近畿・東海・関東地区など地方問屋を経由したエリア拡大で卸売流通構築を図ります。

トピックス(最新ニュースとして当社および業界などのソフト&ホットな情報に関すること)

- ①4月2日東洋ミドル級ボクシングタイトルマッチ前哨戦への出店
- ②4月29日富山昆布まつりへの出店
- ③5月27日新潟総合テレビ消費者キャンペーンへのサンリキソDX3000のサンプリング
- ④6月4日KNBいち川散策でのサンリキソDX3000・からだよろコンブゼリーだよのサンプリング

適時開示情報(組織改編、人事異動、行事、投資、新製品など事業運営に特記すべき情報の開示)

①6月9日株主総会において以下の取締役が選任され、各職務を遂行していきます。

代表取締役社長 高岡 隆志
取締役 村 達男
取締役 富士原 尚文
取締役 小紙 司
取締役 大野 正広

②富山県立大学のアドバイスのもと「からだよろコンブゼリーだよ。」を上市し好評を得ております。

個別業績の概況

単位:千円

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
売上高	7,072	265,073	302,926	69,010
総資産	10,425	128,055	78,310	62,728
経常利益	-10,051	-32,313	-128,610	-7,768
当期純利益	-10,051	-32,313	-128,610	-7,768

(第一四半期)

広貫堂グループPR情報

会社名: (株)沖縄廣貫堂

経営理念(企業価値を示すもの)

富山のくすり廣貫堂製品の卸売販売業として、配置販売業者を通じて沖縄県民の健康長寿、疾病の予防に役立つ企業として社業の発展をはかる。

主要な事業内容(事業内容や事業目的を示すもの)

- ①医薬品・医薬部外品・医療用具・化粧品・清涼飲料水の製造、販売、輸出並びに輸入
- ②食品・日用雑貨の販売、輸出並びに輸入

沖縄廣貫堂は平成16年12月にトキワ広貫堂とともに分社化し、「沖縄県民の健康を考える企業」を目指し、健康に役立つ情報の発信に取り組んでまいります。

事業の概況(現在の事業運営、業績などの概況を示すもの)

平成16年12月に廣貫堂より卸部門の沖縄廣貫堂及び配置部門のトキワ広貫堂を分社化し、沖縄県における配置流通を確立した。配置流通にはトキワ広貫堂以外の個人帳主30名と法人販社との取引により、廣貫堂製品の普及及び情報の提供によりお客様の信頼をはかり、面の拡大に努めてまいります。

課題への取組み(現在抱えている問題や課題に対する取組みを示すもの)

グループ全体の課題として4つのリスクを共有化し、経営改革として取り組んでまいります。

- ①組織機能の見直しと再編
- ②自立拡大策の実施
- ③人材確保とキャリアアップによる人材育成
- ④マーケティング機能の充実

又、沖縄としては流通経費が他県に比べ多くかかる為、重要課題として流通経費削減に取り組んでまいります。

トピックス(最新ニュースとして当社および業界などのソフト&ホットな情報に関すること)

6月14日の株主総会において以下の取締役が選任され、各役職を遂行しています。

- | | | | |
|-------|------|-----|-------|
| 代表取締役 | 島袋 薫 | 取締役 | 大野 正広 |
| 取締役 | 原 裕史 | 取締役 | 中田 秀芳 |
| 取締役 | 小紙 司 | 監査役 | 広明 滋雄 |

適時開示情報(組織改編、人事異動、行事、投資、新製品など事業運営に特記すべき情報の開示)

- ①広貫堂塾にて個人帳主の配置のレベルアップをはかっています。
- ②研修会により医薬品の情報提供がスムーズに行なえる様、研修しております。
- ③ちゃーがんじゅう地区セミナーにおいて、消費者に直接健康情報を提供します。
- ④ちゃーがんじゅうツアーにて、くすりの富山をPR致します。
- ⑤沖縄の健康食材を全国に発信します。

個別業績の概況

単位:千円

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
売上高		67,504	208,372	47,307
総資産		103,634	65,159	65,023
経常利益		2,703	9,935	-66
当期純利益		1,733	6,345	-66

(12月~3月)

(第一四半期)

経営理念(企業価値を示すもの)

株式会社廣貫堂を核としたさまざまな事業領域(ドメイン)における企業および個人に対し、常に顧客の利益創出を側面から支援できる企業を目指す。

主要な事業内容(事業内容や事業目的を示すもの)

主要な事業内容

- ①コンピュータ及びコンピュータ関連機器の販売・リース・設置工事・保守管理
- ②コンピュータソフトウェアの販売・リース・運用・保守管理
- ③情報処理及びコンピュータ利用に関するコンサルタント・教育・情報サービス事業
- ④損害保険代理業及び生命保険募集に関する業務
- ⑤広告・印刷・出版事業

上記事業を通じ、株式会社廣貫堂のコーポレートブランド拡大につながるサービスを提供してまいります。

事業の概況(現在の事業運営、業績などの概況を示すもの)

事業目的達成のためにIT部門と保険部門を設け、特にIT部門においては廣貫堂内部の事業(受託事業)と外部の事業(外販事業)で考え方を大きく変えた事業運営方針を執っている。

第1四半期の業績は次の通りである。

- ①IT受託事業・・・廣貫堂に対する積極的な企画提案も含め、順調な事業展開を行っている。
但し、全社システムとして計画していた新物流システムが関係部門との調整ができず、未着手である。
- ②IT外販事業・・・HP受託開発をはじめ配置向けソフト「懸場物語」開発も計画通り順調に進んでいる。
また、広報活動としてのリーフの配布、HP開設、業界紙広告掲載などの施策も予定通り展開してきた。
- ③保険事業・・・損害保険の年間収保を1300万円に上方修正したが、計画を上回る実績で推進中である。

課題への取組み(現在抱えている問題や課題に対する取組みを示すもの)

課題を明確化、共有化するために、4つのアカウントビリティ項目を設定し、全社員一丸となって取り組んでおります。また、その進捗、有効性評価、透明性を確認するため、経営会議(毎月)および取締役会(四半期)での報告を義務付けております。

4つのアカウントビリティ項目は次の通りである。

- ①自社開発ソフトの販売件数を5件とする。
- ②廣貫堂グループ以外の売上高ウエート(保険料収入全額含む)を10%とする。
- ③グループ連携による損害保険事業の収入保険料を13百万円とする。
- ④産業が計画した廣貫堂コーポレートブランド強化策を100%実現させる。

トピックス(最新ニュースとして当社および業界などのソフト&ホットな情報に関すること)

- ①北陸コンピュータ・サービスとのアライアンスにより、三枝薬房殿のHPを受託開発し4月18日にリリースする。
- ②配置向け販売管理システム「懸場物語」の7月デビューに向け、業界紙(薬日新聞5/24、家庭薬新聞5/25)にその取材記事が掲載される。
- ③6月9日の第60回定時株主総会において以下の取締役および監査役が選任される。
代表取締役 並川 雄二
取締役 小紙 司
取締役 中田 秀芳
監査役 能登 恒雄
- ④廣貫堂取引先向け第1回IT無料講習会を開催する。(6/27-28:定員10名に対し10名の参加)

適時開示情報(組織改編、人事異動、行事、投資、新製品など事業運営に特記すべき情報の開示)

- ①5月17日に廣貫堂産業のホームページを開設する。ホームページURL: <http://www.koukandou-s.com>
- ②配置向け販売管理システム「懸場物語」の7月デビューに向け、リーフレットを作成し薬都廣貫堂の営業マンを通じ、連携した広報活動を行う。
- ③事業拡大に伴い、サービスレベルの維持向上を狙いに半日パート2名を採用する。(6/1:1名、6/26:1名)

個別業績の概況

単位:千円

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
売上高			88,207	22,788
総資産			171,840	177,934
経常利益			3,114	2,771
当期純利益			295	2,771

(第一四半期)